

# Europe Indicators

発表日: 2021年1月25日(月)

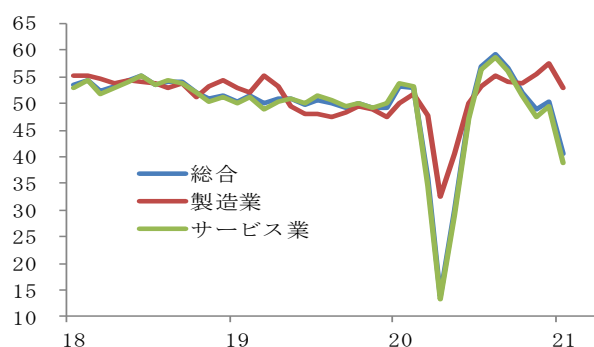
## 欧州経済指標コメント: 1月英国PMI速報

～二番底転落もワクチンに期待～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
 主席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

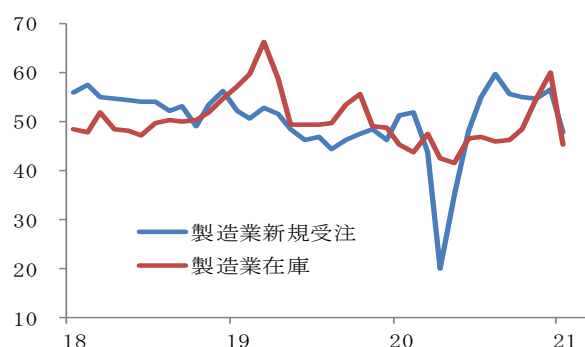
- 22日に発表された1月の英国の総合PMIの速報値は40.6と前月の50.4から9.8ポイント低下し、好不況の分岐点(50)を再び割り込んだ。昨年春の第一波に比べて落ち込みは軽微なもの、同日発表されたユーロ圏のPMIに比べると、より鋭角的な落ち込み。総合PMIを構成する2項目の内訳は、都市封鎖の再強化を受けて、サービス業活動指数(サービス業PMI)が前月: 49.4→今月: 38.8に一段と低下し、落ち込みを牽引。製造業の産出指数(製造業PMIの構成項目の1つ)は前月: 55.9→今月: 50.3と辛うじて50超を維持したが、第一波終了後の最低水準。
- 製造業ではコロナ変異種の感染拡大と英EU間の新たな貿易関係開始に伴う物流停滞、価格上昇、輸出減少などが業況判断の慎重化につながっている模様。移行期間終了を前にした在庫積み増しが剥落し、在庫判断が60.0→45.5に低下。昨年末のフランスの税関閉鎖と年明け以降の税関検査開始による混乱を反映し、入荷遅延(逆数)が27.9→22.7に低下。輸出受注判断の落ち込み(55.6→46.7)や投入物価の上昇(68.0→76.5)にも、ブレグジットの影響が現れている。
- 今月の落ち込みは1-3月期のマイナス成長と二番底転落を示唆する。店舗閉鎖の影響はレジャー、旅行、ホスピタリティ産業に集中するが、その他のサービス業も需要低迷と新規プロジェクトの先送りを報告。但し、落ち込みを牽引したサービス業についても、活動見通し判断が73.1→73.9と前月から一段と改善し、高水準にある。昨年12月に世界で逸早くワクチン接種が開始され、先行きの業況改善を後押ししている。

■英国: PMI 総合



出所: IHS Markit

■英国: 製造業PMIの受注・在庫



出所: IHS Markit

■英国のPMI指数(季節調整済み)

|            | 2020 |      |      |      | 2021 |      |      |      |      |      |      |      |      |      |  |  |
|------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--|--|
|            | 1Q   | 2Q   | 3Q   | 4Q   | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   |  |  |
| 英国 総合PMI   | 47.4 | 30.5 | 57.5 | 50.5 | 13.8 | 30.0 | 47.7 | 57.0 | 59.1 | 56.5 | 52.1 | 49.0 | 50.4 | 40.6 |  |  |
| 製造業PMI指数   | 49.8 | 41.1 | 54.2 | 55.6 | 32.6 | 40.7 | 50.1 | 53.3 | 55.2 | 54.1 | 53.7 | 55.6 | 57.5 | 52.9 |  |  |
| サービス業PMI指数 | 47.2 | 29.8 | 57.1 | 49.5 | 13.4 | 29.0 | 47.1 | 56.5 | 58.8 | 56.1 | 51.4 | 47.6 | 49.4 | 38.8 |  |  |
| 建設業PMI     | 46.8 | 30.8 | 56.5 | 54.1 | 8.2  | 28.9 | 55.3 | 58.1 | 54.6 | 56.8 | 53.1 | 54.7 | 54.6 | -    |  |  |

出所: IHS Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。